

# とくしまスマート県庁推進プラン（仮称） ～Society 5.0を先取り～ 素案の概要

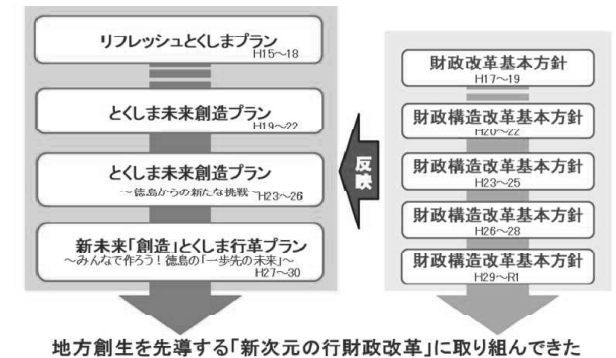
## 1 持続可能な開発目標（SDGs）の推進

徳島県では、脱炭素社会の実現に向けた水素エネルギーや自然エネルギーの積極的な利用、「エシカル消費」の推進など、SDGsの理念にも通じる取組みを推進しており、SDGsの達成にも貢献できるよう、持続可能な行財政基盤を構築。



## 2 これまでの行財政改革の取組み

- ◇ 組織のスリム化に取り組む一方で、若年層が少ない年齢構成の適正化  
再任用職員の活用、若手タスクフォースの全庁展開による行政執行力の維持・強化
- ◇ 「財政構造改革基本方針」に基づき、工夫を凝らした財政運営の推進
- ◇ 消費者庁等の徳島移転への挑戦、テレワークを活用した新たな働き方の創造、AI等の利活用  
など、地方創生をリードする「新しい県政のかたち」を目指し、行財政改革に取り組んできた。



## 3 新たな改革の必要性

- ◇ 人口減少、少子高齢化、大規模災害への備え、グローバル化・ボーダレス化など県政を取り巻く喫緊の課題への対応
- ◇ Society 5.0時代が本格的に到来する新たな転換期を迎え、「スマート県庁」への転換
- ◇ 「政策創造」と「健全財政」を両立する「強靱でしなやかな財政基盤」の確立
- ◇ 公務能率を増進するとともに、職員が持つ意欲と能力を十分発揮することができるよう、働きやすい職場環境づくり

新たなプランの策定へ

## 4 基本的考え方

### (1) 性格と役割

県政運営の指針である「『未知への挑戦』とくしま行動計画」や新たな「地方創生総合戦略」など、各計画の着実な推進を支援し、計画に掲げる目指すべき姿の実現を図ることにより、「SDGs」の目標達成にも貢献できるよう、様々な施策を展開できる持続可能な行財政基盤の構築を目指し、その基本指針として「とくしまスマート県庁推進プラン（仮称）～Society 5.0を先取り～」を策定。

### (2) 改革の方針

**「耐える行革」から「活力を生み出す行革」へ**  
質的向上を重視し、将来にわたり質の高い行政サービスを提供できる持続可能な行財政基盤の構築

### (3) 改革の目的

「とくしま人\*」の夢や希望の実現と、職員が働きやすい職場環境の実現、これら双方を達成し、その相乗効果で**「安心・幸福実感とくしま」を実現**

\*とくしま人：県民はもとより徳島に関心を寄せる人々

### (4) 改革に向けて

- ・ **県民目線・現場主義を「徳島県庁の文化」として**、時代とともに変化する行政課題や県民ニーズに的確かつスピード感をもって対応
- ・ 「SDGs」の理念にも通じる県の施策を推進

### (5) 計画期間 令和元年度から令和4年度までの4年間

### (6) プランの進行管理と見直し

社会経済情勢の変化や、県民ニーズに的確かつ柔軟に対応するため、年度毎に達成状況を点検・評価するなど進行管理を行うとともに、状況変化に応じて追加・見直しを実施する進化する行革プランとする。

## 5 重点項目と主な取組目標 27の取組項目と120の取組目標

### 重点項目Ⅰ 未知なる世界を切り拓く行政モデル

～一步先の未来を具現化する行政手法の進化～

- 1 サービス向上につながるスマート県庁への転換
  - (1) Society 5.0の実現に向けた行政手法
  - (2) 第4次産業革命の技術を活用したバックオフィス改革
- 2 職場全体の意識改革による多様な「働き方」の推進
  - (1) 職員のモチベーションを高める働きやすい職場環境の浸透

### 重点項目Ⅱ 県民とともに歩む県政運営

～県民・NPO・企業等との連携強化～

- 1 多様な主体との協働の加速
  - (1) NPO, 民間企業等の活力導入による事業の推進
  - (2) 大学等との連携の推進
  - (3) 地域に即した徳島ならではの教育振興
- 2 県民主役の県政の展開
  - (1) 県民総参加・共助社会の確立
  - (2) アクティブシニアの活躍推進
- 3 東京一極集中の打破
  - (1) 国に対する政策提言活動の強力展開による地方分権の推進
  - (2) 府県との連携による広域課題への取組み推進
- 4 情報発信力の強化
  - (1) 県民目線による, きめ細やかな情報提供
- 5 県民の信頼や期待に応える県政運営

### 重点項目Ⅲ 社会構造の変化に対応した行政体制

～質的向上を重視した組織・職員体制の構築～

- 1 挑戦の気概あふれるバランスのとれた組織体制づくり
  - (1) 適正な定員管理と組織人員体制の最適化
  - (2) 組織・職員の多様性の向上
  - (3) 将来を見据えた組織執行力の確保
- 2 創造力・実行力・発信力を最大限引き出す人財の育成
  - (1) 「創造的実行力」向上のための研修の充実
  - (2) 士気の高揚及び知識・技術の継承による生産性の向上
  - (3) 広域的視野を持つ職員の育成

### 重点項目Ⅳ 強靱でしなやかな財政基盤

～政策創造の推進と健全財政の両立～

- 1 一步先の未来を創造する財政運営
  - (1) 「財政構造改革基本方針」の推進
  - (2) 社会保障関係費の適正化
  - (3) 管理運営経費の縮減・最適化
  - (4) 特別会計の健全化
  - (5) 公営企業の経営改革
  - (6) 創意工夫による歳入確保
- 2 ファシリティマネジメントの推進
  - (1) 県有施設の総合的利活用及び長寿命化の推進
  - (2) 良質な公共インフラ整備の推進
- 3 県民負担の公平性の確保
  - (1) 未収金対策の推進

## 6 策定スケジュール

- |              |                            |
|--------------|----------------------------|
| 8月 7日        | 第1回とくしま行財政改革プラン推進委員会 (骨子案) |
| 9月20日        | 第2回とくしま行財政改革プラン推進委員会 (素案)  |
| 9月20日～10月21日 | パブリックコメント実施 (素案)           |
| 11月上旬        | 「とくしまスマート県庁推進プラン」策定        |